

2023年8月13日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第66巻第19号(通算3351号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

かみさま ひと とも  
神様がすべての人と共におられる  
ことを証していく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

## せいれいこうりんせつ 聖霊降臨節

### だい しゅじつれいはい 第12主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん  
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜん そ う もくとう  
前 奏 黙 祷

まね ことば しよ  
招きの詞 エゼキエル書

しょう せつ  
12章 21-23節

さんび か ばん しゅ き ちよさくけんしょうめつ  
賛美歌 21-558番「主よ、聞きたまえ」(©著作権消滅)

せい しょ ふくいんしよ  
聖 書 ルカによる福音書

しょう せつ  
12章 35-48節

いの  
お 祈 り

さんび か ばん み は ひと ちよさくけんしょうめつ  
賛美歌 21-236番「見張りの人よ」(©著作権消滅)

メッセージ「〇〇は忘れたところに」

みずたに けん ぼくし  
水谷 憲 牧師

さんび か かいいていばん ばん しおたいずみ  
賛美歌 こどもさんびか改訂版34番「キリストのへいわ」(©塩田 泉)

しゅ いの  
主の祈り

ささげもの  
献 げ 物 (\*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅく ふく  
祝 福

みずたに けん ぼくし  
水谷 憲 牧師

こう そう ばん きょうだんさんびかいいんかい  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

ほう こく ページ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

せき すわ れいはい さんか  
《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物 (献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

<sup>まね</sup>招きの詞 <sup>ことば</sup> エゼキセル書 12章 21-23節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>のぞ</sup>21 主の言葉が私に臨んだ。22 「人の子よ、イスラエルの地について、『日々は延び、幻はすべて消えうせる』というこのことわざは、あなたがたにとって何なのか。

23 それゆえ、彼らに言いなさい。『主なる神はこう言われる。私はこのことわざをやめさせる。もはや彼らがイスラエルでこのことわざを使うことはなくなる。』それゆえ、彼らにこう語りなさい。『その日々は近づき、すべての幻は実現する。』

**聖書** ルカによる福音書 12章 35-48節(聖書協会共同訳©日本聖書協会)

35 「腰に帯を締め、<sup>ともしび</sup> 灯 をともしていなさい。36 主人が婚礼から帰って来て戸を叩いたら、すぐに開けようと待っている人のようにしていなさい。

37 主人が帰って来たとき、目を覚ましているのを見られる <sup>しもべ</sup> 僕 たちは幸いだ。よく言うておく。主人は帯を締めて、その僕たちを食事の席に着かせ、そばに来て給仕をしてくれる。38 主人が真夜中に帰っても、夜明けに帰っても、目を覚ましているのを見られる <sup>しもべ</sup> 僕 たちは幸いだ。39 このことをわきまえていなさい。家の主人は、盗人がいつやって来るかを知っていたら、みすみす自分の家に忍び込ませたりはしないだろう。40 あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。」

41 そこでペトロが、「主よ、このたとえば私たちのために話しておられるのですか。それとも、みんなのためですか」と言うと、42 主は言われた。「主人から、時に応じて穀物を配分するようと、召し使いたちを任された忠実で賢い管理人は、一体誰であろうか。43 主人が帰って来たとき、そのように働いているのを見られる <sup>しもべ</sup> 僕 は幸いである。44 確かに言うておくが、主人は彼に全財産を任せるに違いない。45 しかし、もしその僕が、主人の帰りは遅れると思ひ、男女の召し使いを叩いたり、食べたり飲んだり、酔ったりし始めるならば、46 その僕の主人は、全く思いもよらない日と時に帰って来て、彼を厳しく罰し、不忠実な者たちと同じ目に遭わせる。47 主人の思いを知らながらそのとおりに用意もせず、働きもしなかった僕は、ひどく叩かれる。48 しかし、知らずにいて打たれるような働きをした者は、叩かれても少いで済む。すべて多く与えられた者は、多く求められ、多く任された者は、さらに多く要求される。」

## 《先週のメッセージより》8月6日 平和聖日礼拝メッセージ

「必要なことは一つだけ」より

牛田匡牧師

聖書 ルカによる福音書 10章 38-42節

今回のお話は、マルタとマリアという姉妹のお話です。二人は旅の途中に立ち寄られたイエス様を歓迎し、マルタはイエス様をもてなすために忙しくしていた一方、妹のマリアはイエス様の足元に座って、そのお話に耳を傾けていました。妹がちっとも手伝ってくれないことに業を煮やして、イエス様に対して「手伝ってくれるようにおっしゃってください」と言ってしまったマルタに対して、イエス様は「あなたは色々なことに気を遣い、思い煩っている。しかし、必要なことは一つだけである。マリアは良いほうを選んだ。それを取り上げてはならない」と言われました。この言葉は、何を意味しているのでしょうか。お客様をもてなすのに、食事を用意したりするのも大切な必要なことです。ですから、この言葉は「必要なことは一つだけ」と訳すよりも、むしろ「必要なことは人それぞれ」と訳す方が分かりやすく、ふさわしいように思います。「マリアは自分にとって良い方を選んだ。だから、それを取り上げてはならない」。マリアにはマリアの必要があり、マルタにはマルタの必要があったというわけです。

では「必要なことは人それぞれ」と言った時、戦争の問題はどうなるのでしょうか。双方に理由があり、必要があるという限り、戦争は無くならないのではないかと。しかし、生まれながらの犯罪者がいないように、戦争や犯罪など、あらゆる反社会的行為の源泉は、乳幼児期からの被虐待・暴力の経験だと言われています。それぞれの人が安心して満たされていたら、他者を攻撃する必要がないということです。神様がそれぞれに「良いもの」として創られた全ての命が、それぞれに満ち足りて輝いて生きることが出来るようになることを、神様は喜ばれ、望まれています。その意味で、私たちが目指すべきことは、他人の必要を抑制したり、取り上げたりしなくても済むように、「それぞれの人が、それぞれの必要を満たされる」こと、それこそが「必要なただ一つのこと」とも言えるかもしれません。暴力に満ち、虐待と暴力の連鎖の上続けられている人類の歴史の中で、聖書も権力によって暴力のために乱用されて来た歴史がありますが、それでもなお、その中にはその暴力の連鎖に抵抗したイエス様たちの姿が記されています。それらの言葉と振る舞いに促され、私たちは今日もここから新しく平和を造る歩みへと導かれて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 (8月6日) 平和聖日礼拝

礼拝出席 大人4名 献金 大人4,000円 中継動画再生数5回 感謝

◎次週 2023年8月20日(日) 聖霊降臨節第13主日礼拝

招きの詞 アモス書 5章 24節

聖書 ルカによる福音書 13章 10-17節

メッセージ「命よりも大切なもの」牛田匡牧師

賛美歌 21-418 (©教団讃美歌委)、21-290 (©JASRAC)、21-542 (©JASRAC)

◎お知らせ

・「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。感染症や熱中症の予防のためなど、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。

・8月31日(木)14時~16時に、オンライン講演会(ZOOM)「次の戦争を起こさないために! ~子どもたちの未来を切り拓く~」が開催されます。主催は公益財団法人・日本キリスト教婦人矯風会で、講師は平井美津子さんです。政治により「慰安婦」問題の記述が教科書から消えようとしている今、子どもたちにどんな教科書を手渡していけばよいのか、一緒に考えましょう。

参加費は1100円(税込)です。お申込みは先着80名8月21日(月)締切です。矯風会のウェブサイトから、もしくはメールで、[kyofukai@titan.ocn.ne.jp](mailto:kyofukai@titan.ocn.ne.jp)に、お名前・電話番号・メールアドレスを記入して送信してください。

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
8/20	牛田牧師	
8/27	牛田牧師	誕生者祝福式 おにぎり支援
9/3	水谷牧師	ユウカリスト 教会を考える会
9/10	牛田牧師	

オンライン講演会  
(Zoom ミーティング)

## 次の戦争を起こさないために!

~子どもたちの未来を切り拓く~

2023年

# 8月31日(木)

午後2時~4時

(入室1時45分より)



「戦争には性暴力がつきものです。」

日本軍ってこんなにひどかったと教えるのではなく、平穏に暮らしていた人たちがなぜこんなことをしたのか、また、被害を受けた人の思いも生徒自身に考えさせることが、次の戦争を防ぐ力になります」と、子どもの力を信じて授業を続けてきた平井美津子さん。政治により「慰安婦」問題の記述が教科書から消えようとしている今、子どもたちにどんな教科書を手渡していけばよいのか、一緒に考えましょう。

## 講師: 平井美津子さん

子どもと教科書大阪ネット21事務局長。大学非常勤講師。公立中学校教諭。  
専門: アジア太平洋戦争下における日本軍「慰安婦」  
著書: 『教科書と「慰安婦問題」』(群青社)、『「慰安婦」問題を子どもにどう教えるか』(高文研)、『原爆孤児「しあわせのうた」が聞こえる』(新日本出版社)、『観光コースでない京都』(高文研)、『生きづらさに向き合う子ども 絆よりゆるやかにつながろう!』(日本機関紙出版センター) など。

参加費: 1,100円(税込)

お支払い方法: 郵便振替 / 銀行振込



申込受付QRコード

お申し込み(定員80名、最終8/21まで)

矯風会HPより、またはメール [kyofukai@titan.ocn.ne.jp](mailto:kyofukai@titan.ocn.ne.jp) に  
お名前・電話番号・メールアドレスを記入して送信してください。  
お申し込み後、振込先をお知らせします。

主催・お問い合わせ: 公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

<https://kyofukai.jp> tel:03-3361-0934 東京都新宿区百人町2-23-5